

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・店頭販売と並行してネット販売もしているが、全国から注文が来ている。ネット販売は少し増えており、1件当たりの単価も高い。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・当地区では入口に対しスーパー、コンビニ、デパートなどが多く、商店街には客が来ない。
			販売量の動き	・物が動く季節であるが、客の購買意欲がない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・販売量の動き、客単価は変わらないが、買上点数が前年比98%と前年を下回っている。
		スーパー（経理担当）	単価の動き	・原材料価格の高騰などで販売単価はわずかに上昇しているが、買上点数は減少している。買い控えや安い店への買い回りが目立つ。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店の売上高は前年比105.6%、コンビニは同92.0%、ローカルスーパーは同114.0%である。売るべき物売り、販促活動に取り組んできた結果である。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・来客数は増えているが、販売台数は前年並みである。内容を見ると、価格は高くても燃費が良い車を購入する傾向にある。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・家具や建具の即売等を行うイベントが開催されたが、各売店への来客数は減少している。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	来客数の動き	・来客数はほぼ横ばいで推移している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・プライベートでの利用はそこそこあるが、社用、グループ客が減っている。
		その他飲食〔居酒屋〕（店長）	来客数の動き	・来客数が少なく、周辺のメイン商店街も空洞になっている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・天候に恵まれキャンセルも無く、予約も変動無く推移している。しかし新規客の予約は、これまでと変わらず鈍い状況にある。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・国内旅行を中心に需要はあるが、先の予約は弱い。旅行代金がかかる傾向にあるため、安い商品に需要が集まる。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・観光施設についてはNHK大河ドラマの好影響が続いている。
	競輪場（職員）	販売量の動き	・発売額、入場者数共に若干ながら増加傾向にある。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・住宅展示場への来客数が相変わらず減少傾向にある。	
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・土地に関する問い合わせが前月同様なない。安くないと買えないと言う客が多く、景気はあまり変わらない。	
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街の来街者数がかなり減っている。祭日、休日でも中心街には客足が伸びず、郊外店に行く客が増えている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・とにかく来客数が少なく、天気が悪い時は特に少ない。
商店街（代表者）		来客数の動き	・安売り商品を準備しても、購入する客が少ない。特に食品の動きは鈍くなっている。	
商店街（代表者）		来客数の動き	・株価暴落や円高の報道以降、経済不安が広がり、買い控えが起きている。	
商店街（代表者）		来客数の動き	・毎年行われている中心商店街の通行量（歩行者・来街者）調査によると、前年比4%の減少であった。減少ペースは鈍化した。これ以上減少すると空き店舗だらけの中心商店街になる。	
百貨店（売場主任）		販売量の動き	・出来る限りの販促を行っているが、客の反応が悪い。価格を低くしても購買に繋がらず、本当に必要な物しか売れない。	

百貨店（営業担当）	お客様の様子	・全店割引特招は、来客数、レジ客数、買上単価共に前年を上回った。クレジット催事を自社クレジット催事に変更し、新しいメリットを用意し、新規会員を獲得している。お買得、ポイント付加等のメリットへ敏感に反応する姿勢が一段と強まっている。
百貨店（営業推進担当）	来客数の動き	・週末の来客数の落ち込みが激しい。客は郊外型ショッピングセンターへ流れているほか、家族ぐるみでの買い物控えている傾向がある。
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・前半は気温の低下に伴い秋物衣料が動き、売上は前年並みに推移した。一方、中盤からは高温や米国のサブプライムローン問題に端を発した世界同時不況等により低迷した。また、後半からは同業他社の閉店セールの影響もあり低迷した。
百貨店（業務担当）	販売量の動き	・年金、高齢者の医療制度、ガソリン高騰、食品偽装等消費マインドに悪影響を及ぼすニュースが多く、先行きの不安を話す客が多い。
百貨店（企画）	来客数の動き	・来客数、買上客数共に前月から4ポイントほど下降傾向にある。消費者の消費意欲は、金融危機・株安の影響で一気に冷え込んでいる。物産展催事等の買上客数は好調であった前月から一転して悪くなっている。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・薬品や添加物等による問題で食品への不安が募っており、厳しい。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・各社創業祭等をやっているが、食品に関する諸問題により買い控え傾向にあり、動きが鈍い。食料品は前年比94%となっている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・食料品は生鮮品・加工品共に伸びている。単価の値上げで買上点数は減少しているが、売上は増加している。しかし紳士・子供服、家電、インポート商品が苦戦しており、化粧品、タバコ、ゲーム等の動きも鈍い。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・高額商品の動きが特に鈍っている。
コンビニ（エリア担当・店長）	単価の動き	・価格高騰に伴い、購入には非常にシビアであり、買上点数は減少している。
衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・フロア全体が前年の売上を下回っている。店の前を歩いている人がとても少なく、来客数が確実に減っている。
家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・売上、来客数共に前年を大きく割り込んでいる。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・平日、休日共に販売数がやや落ちている。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	販売量の動き	・燃料油の小売価格は高止まりから徐々に下がり、ガソリンは30円ほど下がったが、販売量にさほど変化はない。小売価格は毎週変化しており、毎週下がるのではという期待感から定量・定額給油の傾向にある。
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・忙しい日と暇な日との差が激しい。客の懐は完全に冷え切っている。
旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・原油価格の高騰は落ち着いてきたものの、世界的な不況感が高まり企業需要の落ち込みが懸念される。また個人の余暇消費も落ち込んでいる。
タクシー運転手	来客数の動き	・国体が開催されたにもかかわらず、全く客の動きがなく、夜の街も客がいない。また会社を解雇され、当社に面接を受けに来る人が増えている。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・販売量が低下している。また、強力な営業力を有する販売代理店でさえも販売量が低下している。
通信会社（業務担当）	販売量の動き	・強化商品のプロモーションが弱く、来客数が激減し、一般消費者、法人契約共に販売台数が大きく落ち込んでいる。付加サービス販売を強化しても、落ち込んだ収入をカバーしきれていない。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・団体の宿泊とコンベンションの利用は好調であるが、個人客の予約が伸びない。ゴルフは堅調に推移している。
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・来場者数が落ち込んでいる。
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月の入場者数は前半、中旬と前年並みに推移していたが、下旬になって急激に減り、前年を1割程下回った。特に地元の客が減っている。

悪く
なっている

商店街（代表者）	来客数の動き	・株安や世界同時不況の影響を受けて、商店街の来客数が激減している。さらに客単価も下がり、個人消費は落ち込んでいる。
商店街（代表者）	販売量の動き	・商店街にある大型百貨店が閉店し、来客数も売上も減っている。
一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・中央市場で特に果物の相場がたたない。前年の5～7割位の相場であり、かなり厳しい状況である。
一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・世界の金融危機により、先行き不透明な状態で来客数も減少している。また取引先の経費削減により、事務所用の注文も無い状態である。売上も前年比20%以上の減少である。
百貨店（総務担当）	販売量の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、客単価が大幅に低下している。特に、メンズ、レディース共にアパレルの動きが鈍い。
百貨店（営業担当）	それ以外	・買い控え傾向が強まっている。また必需品と言われる冬物防寒衣料の単価がかなり下がっている。また高額品の動きも悪く、特に美術、呉服、宝飾等の百貨店が最も得意とする分野が非常に厳しい状況である。またインポートブランドの動きも極めて悪く、これまで経験したことがないような厳しさである。
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客は今要る物のみの購入で、まとめ買いや先物買いをせず、動きが鈍い。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前年と同様の催しを開催しても、まとめ買い、ついで買いは皆無であった。目的の商品のみの購入となっており、来客数も減少傾向である。
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・半径5キロ圏内に1万2,000平方メートルほどの店舗がオープンした影響もあって、来客数が前年比2けた減となっており、他店でも前年を10%ほど下回っている。売上はシェアの高い食料品が前年比10%ほど減少しており、厳しい状況である。全体でも前年比6～7%低下しており、今年度で一番悪い。
スーパー（店長）	お客様の様子	・昼の弁当商材の単価が落ちており、弁当、野菜、デザート込みでワンコイン以内に抑えて購入する客が増えている。食品については鶏肉の売上が上昇し、前年比110%と伸びているが、豚肉については前年並みで推移している。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・土日の来客数が大幅に減っている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・原材料の値上げ等で主力商品の菓子パン、弁当類が値上げしており、客の買い控えが多くみられる。財布のひもは以前より固い状況である。
コンビニ（エリア担当・店長）	単価の動き	・タスポ効果で来客数は伸びているが、客単価が前年より大幅に下回っており、全体的に売上は悪い。買い控えがある。
衣料品専門店	来客数の動き	・株価が下がり暗いニュースが多い影響で、来客数が減っている。買上単価が低下することはあったが、今月は来客数の減少が目立っている。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・10月半ばに商店街恒例のイベントを実施したが、来街者も少なく、客の財布のひもはいいよ固く締まっている。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・世の中の動き、特にテレビ報道の影響で客が不安がってなかなか売上に結びつかない。小さな動きでも瞬時に伝わり、客はとにかく不安がっている。
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・秋冬物の最盛期で商品も揃っており、催事も3度行ったが客の出足は非常に悪い。見ているだけで購買にはつながらず、単価も非常に低い。買い控えの傾向が強まっている。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・ミセス衣料品は前年比4.5%減、ヤングは同2.1%減、ブランド衣料も前年比大幅減、雑貨物は横ばい状態である。海外ブランドのハンドバッグが売れなくなっている。時計、宝飾も売上が大幅に減少、価格も2～3割下げているがそれでも動きが鈍く、売れていない。
家電量販店（店員）	単価の動き	・株価が下がり、客は先行き不透明感を抱いている。家電は使えばよいと価格の安い商品を選ぶ客が多く、客単価が落ちている。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・車に故障がないと新車購入につながらない。

	乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・新車の受注は、前年比80%と大変厳しい。	
	自動車備品販売 店(従業員)	お客様の様子	・高額商品の動きが悪くなっており、特にカーナビ ゲーションの動きが鈍い。	
	その他専門店 [書籍](店 長)	単価の動き	・景気の後退と共にまとめ買いが明らかに少なくなっ ている。不要不急の物は買わない傾向にある。	
	ドラッグストア (部長)	来客数の動き	・来客数が前年を下回っている。	
	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・株安円高等の影響で企業が接待費をかなり削減して おり、料亭を利用しなくなっている。	
	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・世界的な景気後退の影響で、来客数、客単価共に落 ちている。	
	都市型ホテル (総支配人)	単価の動き	・大幅な金融の変動により先行きが懸念され、消費者 の財布のひもが固くなっている。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊・レストラン共に来客数が減少している。ビジ ネスユースと個人消費の抑制が影響している。	
	都市型ホテル (副支配人)	お客様の様子	・今までは販売量や単価の動きで判断してきたが、初 めて客の様子で悪いと実感できる。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・例年であればゴルフ客が多いが、今年は少なく、夜 の街も動きが悪い。	
	タクシー運転手 通信会社(管理 担当)	お客様の様子 お客様の様子	・平日は飲み屋に行く客が極端に少ない。 ・解約数が増加している。	
	通信会社(総務 担当)	お客様の様子	・景気の悪化により、ケーブルテレビへの新規加入者 数は前年比で減少している。また、解約者数も増加し ている。	
	通信会社(営業 担当)	それ以外	・天候が悪いせいか買い控えをしている客が非常に多 く、売行きが悪い。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・客が海外品を回避し、国産品へのシフトがみられ る。
	変わらない	農林水産業(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・中国産食品問題で国産志向の高まりが一段と強く なっているが、飼料高騰などの要因で原料の手当てが つかず、チャンスロスを招いている状態である。
	やや悪く なっている	窯業・土石製品 製造業(取締 役)	取引先の様子	・株、為替の影響で銀行の貸し渋り、資材の高騰、輸 出の問題等があり、非常に厳しい。消費もなかなか伸 びず、小売業も相当厳しくなっている。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・装置金属部品加工部門において、受注量の落ち込み がみられる。装置開発部門の受注は引き続き好調であ る。
		輸送用機械器具 製造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・メーカーが工場閉鎖及び稼働率を下げている、大変 厳しい状況である。
		輸送業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・日常生活に直接関係ないような商品の荷動きが悪く なっている。特に園芸商品、ペット関連商品の荷動き が悪い。
		通信業	受注量や販売量 の動き	・上期の通信工事は好調であったが、下期の工事は 減っている。金融不安による影響が設備投資が先延ば しとなっている。
		金融業(営業担 当)	取引先の様子	・世界同時不況の影響により、年商1億円前後の中小 企業経営者の多くは当面の設備投資を見合わせてい る。資金需要も乏しい状況が続いている。
		金融業(得意先 担当)	取引先の様子	・建設業、土木関係の企業がかなり多い地域である が、県や市町村からの公共工事の発注がなく、資金繰 りが非常に厳しい状況にある。そうしたなか、原油価 格高騰等に伴う資金繰り安定化制度が県から打ち出さ れ、それを利用する企業はかなり増えている。かなり 厳しい状況である。
		新聞社(広告)	受注量や販売量 の動き	・金融不安の影響を受け、企業が広告出稿に消極的 になっている。全体で前年比2割程度の減少となってい る。
		経営コンサル タ	受注量や販売量 の動き	・受注量並びに単価が減少している。

		その他サービス業〔物品リース〕（従業員）	競争相手の様子	・リース業界においては国内の景気後退による設備投資の減退の影響を受け、契約数が大幅に落ち込んでいる。当社、同業他社共に前年比80%にまで落ち込んでいる。
悪く なっている		繊維工業（営業担当）	取引先の様子	・既製品やオーダー品の注文が全くない。在庫も残っており、10年前のバブル崩壊後よりも悪い。
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・確実に仕事量が減っている。マーケットが縮小しているなか、株安、円高等が重なり、新規物件の縮小や中止の話が多くなった。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1年で一番品物が動く時期であるが、受注状況は大変悪くなっている。1週間休業した企業もあり、厳しい状況である。商社の展示会を東京で行ったが、来客数が少なく受注がない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車産業の売上不振により、ここ数か月は見積もらない。自動車以外も受注量は減少傾向である。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連に関しては大手中堅企業問わず、底なしの状況である。金型全般は大幅に落ち込んでおり、稼働率が大幅に低下している。また精密機械、それに関連する部品等の動きも非常に鈍い。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・発注の予定は立っているが、引き延ばしになっている。受注価格がひっ迫しており、資材の高騰で厳しい状況である。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新規大型案件の成約が全くない。
		金融業	取引先の様子	・素材、燃料の値上がり、公共工事の減少等が依然続いており、中小企業の資金繰りは大変厳しい。自動車メーカーなどの減産体制の影響もみられる。建設業、製造業、小売業などの悪化が顕著である。
		金融業（営業職渉外係）	それ以外	・世界的な金融危機が続いており、国内外のマーケットが混乱している。取引先も業績に大きな打撃を受けており、景気は悪くなっている。
		不動産業	受注量や販売量の動き	・売買仲介は購入申込があっても、銀行ローン審査が通らず、客は購入できない。購入申込金額も低下している。賃貸管理は、売上減少や材料費の高騰を理由にテナントより賃料減額の交渉件数が増えている。空室の増加も目立つ。賃貸仲介は、初期費用の低い物件が求められており、法人契約が減っている。家賃補助額も減っている。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・事故米を使用した焼酎メーカーは売上が大幅に減少している。小売店も焼酎の売上は前年比20%減少している。
		その他サービス業	競争相手の様子	・地方自治体の建設工事は発注量が減少している。道路、下水道などを設計・施工する建設コンサルタントや建設業は、受注量が激減しており、経営難となっている企業が増えている。銀行に借入れを申し込んでも貸し渋りに合い、ビジネスローンから高い利率で借入れを行っている企業が見られる。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は3か月前に比べて1.5%増加している。前年比は25.6%の減少となっているが、減少幅は小さくなっている。
	やや悪く なっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・大小含め、求人広告の件数が大幅に減少している。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		周辺企業の様子	・金融危機、円高の影響により、北部九州の自動車産業が減産体制にあり、臨時の雇用者数が減っている。下請の製造業を中心にますます厳しくなっている。	
民間職業紹介機関（社員）		求人数の動き	・金融関連の依頼、契約満了時の後任依頼などが減少している。特に後任不要は大手企業の支店レベルから中小企業の本社まで広がっている。年末年始に向けた販売案件の依頼も本格化する時期であるが、まだ具体的な動きが出ていない。	
	学校〔大学〕（就職担当者）	求人数の動き	・秋採用に関する企業側の求人活動が前年と比べて鈍い。人事担当者との懇談においても、夏採用時よりも求人意欲が低下している。	

悪く なっている	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・派遣の契約が終わり、社員の異動などが多くなり、新規採用を控えている企業が多い。また企業への注文数や売上も減っているため、人員は少なくとも対応できているようだ。
	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・企業が支店縮小、閉鎖を行っており、派遣雇用は敏感に反応している。あと1年は雇用回復は見込めない。
	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・例年、就職サイトを利用しているが、経費節減のためサイト利用を中止している。毎年新卒採用を行ってきたが、H21年度の採用は見送るかもしれない。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・派遣先の業績不振による派遣終了などが増えている。半導体関連は深刻であり、早期退職者を募るようである。また秋のイベントシーズンであるが、単発の依頼も少ない。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・当社の実績そのものが悪化している。例年9月、10月になると求人市場は活発になり、売上実績を伸ばすが、今期は求人件数の減少に伴い、大幅に売上は減少している。
	新聞社[求人広 告](担当者)	周辺企業の様子	・求人広告を扱っていた長年の取引先が倒産するなど、求人を取り巻く環境の厳しさを目の当たりにしている。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数が前年比38%と大きく落ち込んでいる。
	民間職業紹介機 関(支店長)	求人数の動き	・既存客からの契約終了・更新なし、新規客からのオーダー皆無の状況が金融危機発生以降、更に強まった。
	学校[専門学 校](就職担 当)	求人数の動き	・求人数は前年比1割程度減少している。また、内定企業の業績悪化に伴う内定取消しが発生している。